

R4 開始

09

かわにしまち  
川西町（山形県）～主な品目～  
豆類(枝豆 等)

## 実施体制

川西町、JA山形おきたま、かわにし有機農業推進協議会、  
町内生産者・団体、かわにし森のマルシェ、米沢栄養大学、  
川西町浴浴センターまどか、山形県立置賜農業高校等

## 面積情報

有機農業取組面積：26ha 耕地面積に占める割合：0.5 %

（令和3年度時点）



## 1 成果目標

|                   |       |         |   |       |          |
|-------------------|-------|---------|---|-------|----------|
| 有機農業の取組面積の拡大      | R4 年度 | 27.1ha  | → | R9 年度 | 29.1ha   |
| 有機農産物の販売数量の拡大（枝豆） | R4 年度 | 7,800kg | → | R9 年度 | 13,800kg |
| 有機農業に取り組む農業者数の増加  | R4 年度 | 14人     | → | R9 年度 | 17 人     |

## 2 有機農業を拡大していく上での課題

## 【生産】

- ・有機農家と慣行農家との相互理解
- ・有機農業の栽培技術の確立
- ・指導体制の強化
- ・経営戦略確率にむけた出口戦略の構築

## 拡大をはばむ雑草の紹介

## ●ヒエ（5月～9月）

## 【対策】

- ・深水管理+水田除草機
- ・深水管理+合鴨(一部機械除草)
- ・紙マルチ

▲合鴨農法  
(除草風景)

## 3 課題に対する取組のポイント・成果

## 【取り組みのポイント】

- ・有機農業者と慣行農家との意見交換会の実施
- ・特定区域で栽培実証ほ場を設置
- ・若手農業者と一般消費者に有機JASの勉強会を実施
- ・大消費地等でのイベント出展による出口構築
- ・町内全小中学校に有機農産物を提供

## 【取組による定量的な成果】

- ・慣行から有機に転換移行者 R3: 0人⇒R5: 3人
- ・給食導入回数 R3: 0日⇒R5:10日

## ポイントとなる導入技術

## ○輪作体系の確立（今後）

- ・水稻と大豆の輪作

## ○メリット

- ・主作物の雑草対策
- ・連作障害の回避
- ・地力の向上

## ○懸念

- ・水管理が可能なところに限られる。



▲R5 豆づくり

## 4 主な取組内容

## ①生産（団地化、土づくり運動の推進）

- 商談会への参加等を契機に、新たに7人が有機に転換予定。
- 先進的農家を招へいた新規参入者向けの技術習得に向けた勉強会の開催。
  - ・丸太等を使った無肥料の土づくり（丸太高畝栽培）の実証。
  - ・土壌診断の結果の正しい見方と施肥設計の勉強会の実施。
  - ・雑草抑制のための土づくり等の外部セミナーへの参加。
  - ・有機栽培技術「BLOF理論」の理解促進等の基礎勉強会の実施。

## ②加工・流通（加工品開発、出口戦略）

- ・有機農産物の加工品（枝豆のパスタ等）の開発。
- ・加工・流通業者が対象となる展示会への出展。
- ・事業実施区域に係るパイヤーとの農産物販売に向けた打ち合わせ。
- ・新たな販路開拓に向けた取組や意見交換会等の実施。

## ③消費（食農教育、食育の推進）

- ・消費者が身近で有機農産物を味わえるよう、地元飲食店へ有機農産物を提供し、消費者への理解促進を図る。また、事業者への有機の理解を高める。
- ・併せて、町内マルシェにて、有機農産物の販売イベントを開催。



▲丸太高畝栽培の実証



▲イベント出展風景